

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	南あわじ市立御原中学校 職・氏名 教諭・浜浦 晃安	研究チーム名 ( 三原金曜会 )
-----------------	------------------------------	---------------------

研究テーマ分類番号 ( 17 )

(1) 研究テーマ
「青少年のための科学の祭典」を通して小中学校理科担当教員としての資質を高める
(2) 研究経過及び具体的な取組
<p>7月1日 三原金曜会発会式兼「青少年のための科学の祭典」担当実験会 実施場所及び人数：組合立広田中学校（4人） 内 容：夏の『科学の祭典』に向け、担当ブースの実験を行う。 講 師：柳学園中学高等学校 理科教諭 成果と課題：スライムづくりの方針を決定できた。 例年、スライムを常温の水で作っているが、講師のアドバイスで、温水で作ってみる方法もあるとのご指導を受ける。ところが、予備実験を繰り返してみたが、思ったよりうまくできなかった。その要因は、「温度が一定でない」「ブースでの温水管理が難しい(電源の確保も含む)」「より多くの人数を受け入れるには、常温水が妥当」との結論を得ることができた。</p> <p>8月20日 「青少年のための科学の祭典ひょうご大会」参加 ～21日 実施場所及び人数：洲本市文化体育館（4人） 内 容：本研究チームの構成員が、スライムづくり、ワイングラス・共振鍋の音実験に分かれて、2つのブースを担当。 成果と課題：来場した子ども達へ、科学(理科)に対する興味を高めることができた。 心配していた来場者数も非常に多く、盛況であった。 両日とも、講師の指導により、安全でたのしい実験ブースを開くことができた。 毎年の『科学の祭典』を楽しみに参加している子もおり、子ども自身の成長を感じられる場面もあった。 夏休みの自由研究に活かしたいという子どももいた。また、何度も「スライムを作らせてください」と、数度にわたってブースにくる子どももいた。</p> <p>今後の予定 1月中旬～下旬に活動のまとめを行う</p>